

新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。

このたび、厚生労働省より「風しんの追加的対策」として2022年3月31日までの間に限り、昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までの間に生まれた男性を対象とし、クーポン券配布による原則無料の抗体検査の実施が行われております。

弊社におきましては、この度のワクチン接種前の風疹の抗体検査に関して、受託体制の拡充を目的としクーポン券に対する専用の項目を新設いたしました。

取り急ぎご案内させていただきますので、ご利用の程よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

- 受託開始日 2019年5月27日(月) 受付分より受託開始
- 新規受託項目 風疹ウイルスIgG抗体(CLEIA)クーポン
- 検査要項

CODE	検査項目	検体 必要量	容器 保存方法	検査方法	基準値 単位	所要 日数	実施料 判断料	備考
5077	風疹ウイルスIgG抗体 (CLEIA)クーポン	血清 0.4mL	A1-1 冷蔵	CLEIA法	※20未満 IU/ml	2~7日	なし	※基準値はワクチン接種の対象となる抗体価基準を記載しております。 *A

検査場所: 保健科学総合研究所(略号*A)

(留意事項)

- ・クーポンワクチン接種の要否を判断する目的の専用項目となり、臨床診断用の検査項目とは基準値などが異なります。
- ・基準値は、定期接種の対象となる抗体価を表記しております。
- ・当検査項目の使用試薬は、「風しんの追加的対策」の対象となる検査試薬の一つであるベックマン・コールター株式会社のCLEIA法試薬「アクセス ルベラIgG」を用いております。

▼「風疹の追加的対策」について

このたびの厚生労働省における「風しんの追加的対策」は、昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までの間に生まれた男性を対象とし、風疹抗体の保有率を引き上げることを目的とし実施されております。これは対象世代の男性は予防接種法に基づく定期接種を受ける機会がなく、抗体保有率が他の世代に比べて低いからです。

風疹の対策として注視されているのは、先天性風疹症候群：CRS (Congenital Rubella Syndrome) の予防が上げられます。これは妊娠20週頃までに妊婦が風疹に感染することで、風疹ウイルスが胎児に感染し、出生時に目や心臓、耳などに障害を引き起こすことがあるためです。また風疹は、咳やくしゃみなどに含まれるウイルスを吸い込むことによってヒトからヒトへ感染が伝播し（飛沫感染）インフルエンザなどに比して感染力が強い特徴があります。風疹の症状としては不顕性感染（感染症状を示さない）や、比較的軽い症状の傾向がありますが、希に重篤な合併症を併発することもあり軽視することはできません。

今回実施される「風しんの追加的対策」によって対象者にはクーポン券を配布し、原則無料で抗体価検査及びワクチン接種を可能とすることで風疹の感染防止が期待されております。

▼ 参考文献

厚生労働省:「風しんの追加的対策について」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/rubella/index_00001.html